

平成21年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

(平成21年9月末現在)

財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300 企業

業種別内訳 (産業分類 中分類)

鉄鋼・非鉄関係	29 企業	金属製品関係	45 企業
一般機器関係	45 企業	電気機器関係	45 企業
輸送用機器関係	31 企業	精密機器関係	30 企業
縫製関係	45 企業	樹脂製品関係	30 企業

(3) 調査時点

平成 21 年 9 月 30 日現在

(前回調査時点 平成 21 年 6 月 30 日)

(4) 調査方法

調査票 (別紙様式) の郵送によるアンケート方式

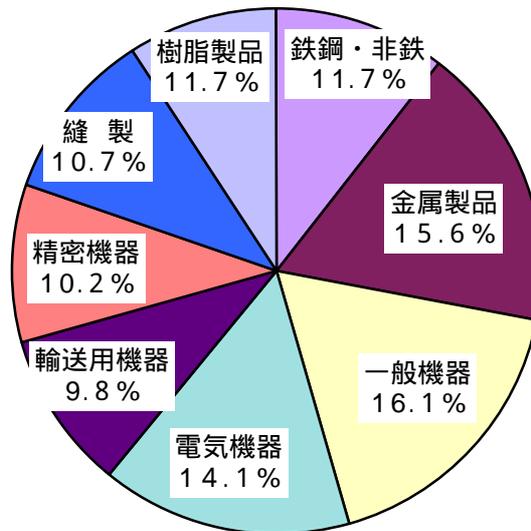
調査項目 (受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力)

(5) 回収状況

調査対象企業数	300 企業		
回収企業	184 企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	20 企業	(10.9%)
	金属製品関係	29 企業	(15.8%)
	一般機器関係	32 企業	(17.4%)
	電気機器関係	29 企業	(15.8%)
	輸送用機器関係	19 企業	(10.3%)
	精密機器関係	19 企業	(10.3%)
	縫製関係	20 企業	(10.9%)
	樹脂製品関係	16 企業	(8.7%)
回収率	61.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
個人	12 6.5%	1 5.0%	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	1 5.3%	0 0.0%	7 35.0%	1 6.3%
~300万円	14 7.6%	2 10.0%	1 3.4%	0 0.0%	2 6.9%	3 15.8%	1 5.3%	3 15.0%	2 12.5%
301~999万円	11 6.0%	1 5.0%	1 3.4%	0 0.0%	2 6.9%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.0%	3 18.8%
1,000~2,000万円	100 54.3%	8 40.0%	21 72.4%	22 68.8%	18 62.1%	9 47.4%	10 52.6%	6 30.0%	6 37.5%
2,001~5,000万円	35 19.0%	6 30.0%	5 17.2%	8 25.0%	5 17.2%	3 15.8%	4 21.1%	2 10.0%	2 12.5%
5,000万円超	12 6.5%	2 10.0%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.4%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	2 12.5%
合 計	184 100%	20 100%	29 100%	32 100%	29 100%	19 100%	19 100%	20 100%	16 100%

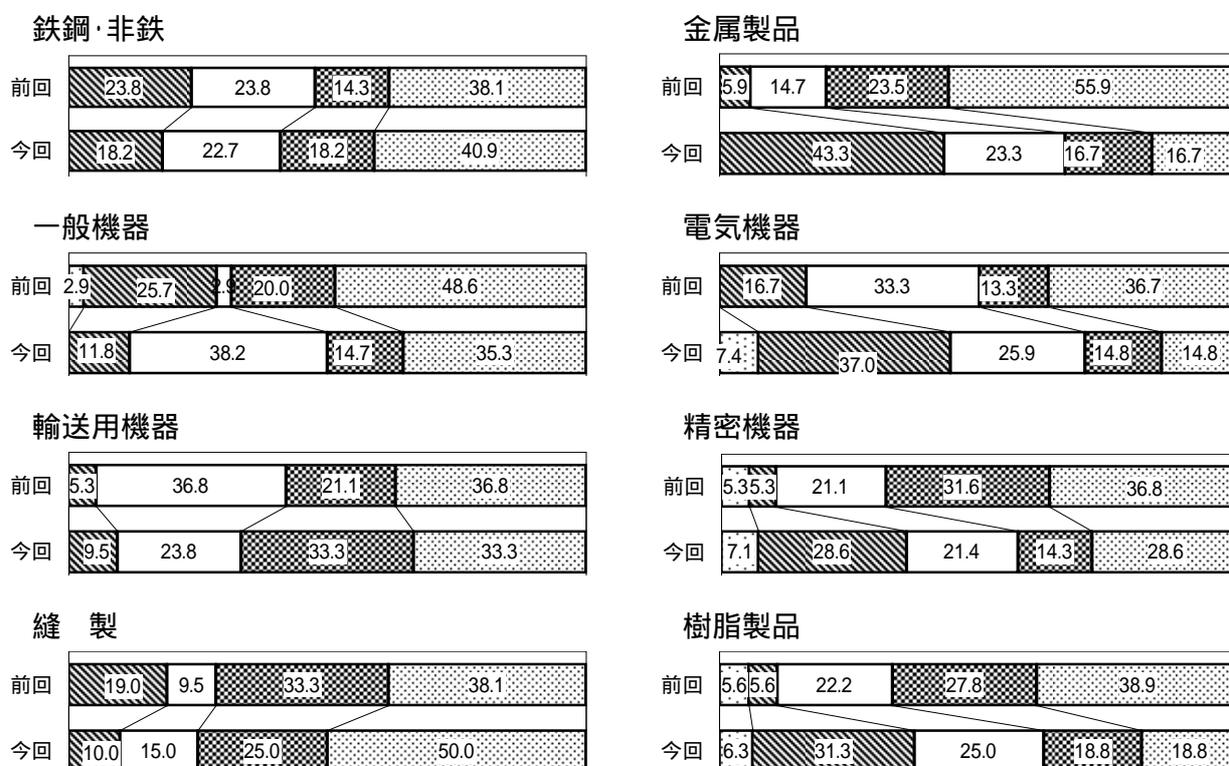
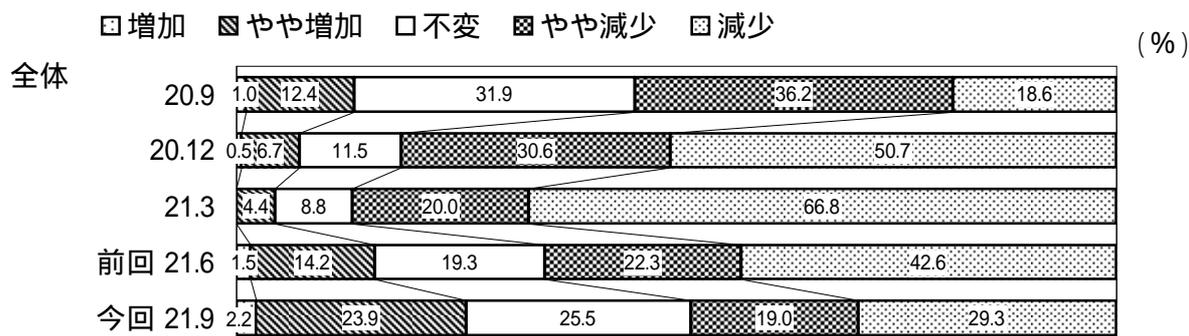
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫 製	樹脂製品
1~5人	28 15.2%	3 15.0%	3 10.3%	2 6.3%	2 6.9%	3 15.8%	2 10.5%	10 50.0%	3 18.8%
6~10人	29 15.8%	4 20.0%	5 17.2%	3 9.4%	4 13.8%	4 21.1%	2 10.5%	4 20.0%	3 18.8%
11~20人	46 25.0%	2 10.0%	13 44.8%	13 40.6%	6 20.7%	4 21.1%	4 21.1%	2 10.0%	2 12.5%
21~30人	21 11.4%	3 15.0%	3 10.3%	4 12.5%	4 13.8%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	3 18.8%
31~50人	26 14.1%	3 15.0%	1 3.4%	7 21.9%	6 20.7%	2 10.5%	4 21.1%	3 15.0%	0 0.0%
51人以上	34 18.5%	5 25.0%	4 13.8%	3 9.4%	7 24.1%	4 21.1%	5 26.3%	1 5.0%	5 31.3%
合 計	184 100%	20 100%	29 100%	32 100%	29 100%	19 100%	19 100%	20 100%	16 100%

3. 調査結果

(1) 受注量について



全体

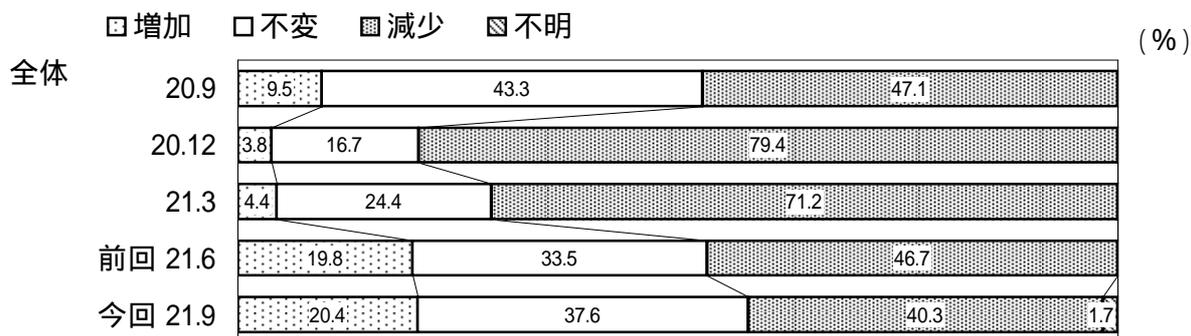
7～9月期の全体の業況判断DI(「増加」及び「やや増加」と回答した企業割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業割合を差し引いた数値)は、22.2となり、前期(4～6月)に比し、27ポイント上昇し、2期連続で改善した。但し本格的な回復には至っていない状況である。

業種別

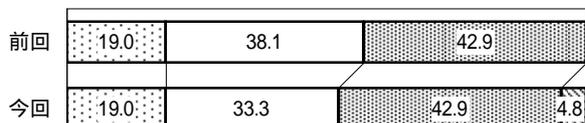
業種別DIでは、金属製品で9.9(前期差83.4ポイント上昇)、電気機器で14.8(前期差48.1ポイント上昇)とプラスに転じ、精密機器で7.2(前期差50.6ポイント上昇)、樹脂製品で0(前期差55.5ポイント上昇)と、「やや増加」を含めて「増加」とする企業が大幅に増えた。

一方、鉄鋼・非鉄で40.9(前期差12.3ポイント低下)、縫製で65.0(前期差12.6ポイント低下)となり、「増加」とする企業が減少するとともに、「減少」とする企業が増えた。

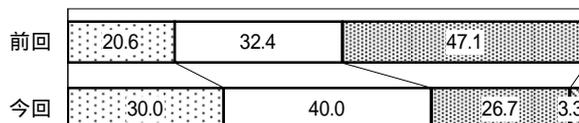
(2) 受注量の見通しについて



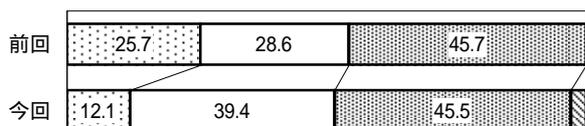
鉄鋼・非鉄



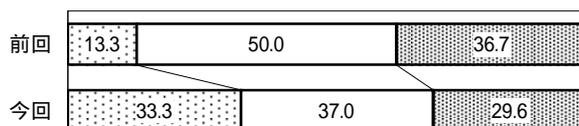
金属製品



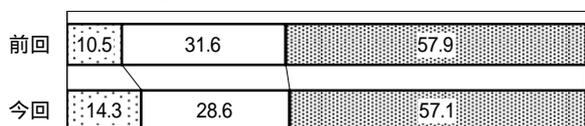
一般機器



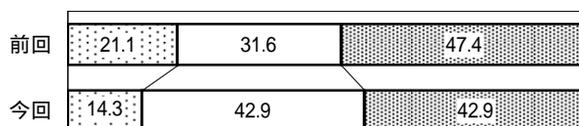
電気機器



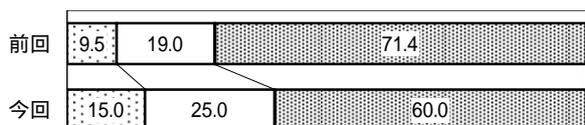
輸送用機器



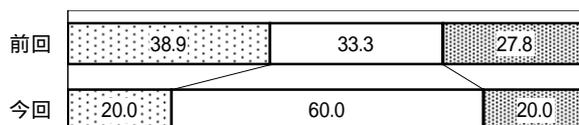
精密機器



縫製



樹脂製品



全体

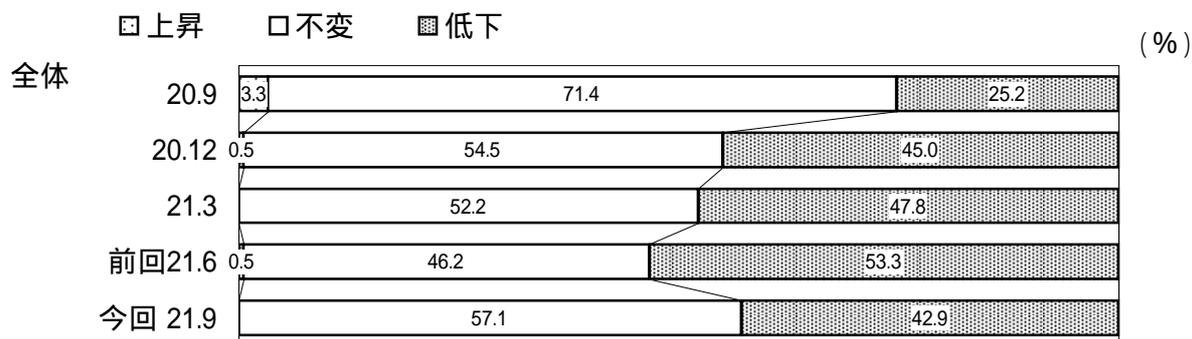
7～9月期の全体の業況判断DI（「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた数値）は、19.9となり、前期（4～6月）に比し、7ポイント上昇し、3期連続で「増加」の見通しとなった。

業種別

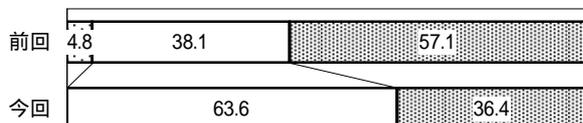
業種別DIでは、金属製品で3.3（前期差29.8ポイント上昇）、電気機器で3.7（前期差27.1ポイント上昇）とプラスに転じ、縫製で45.0（前期差16.9ポイント上昇）、輸送用機器で42.8（前期差4.6ポイント上昇）と、「増加」を見込む企業が増えた。

一方、一般機器で33.4（前期差13.4ポイント低下）、樹脂製品で0（前期差11ポイント低下）と、「増加」を見込む企業が減少した。

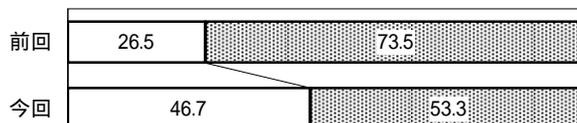
(3) 受注単価について



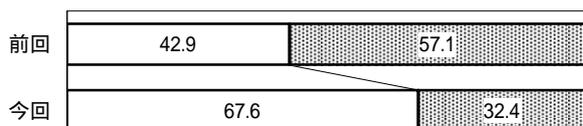
鉄鋼・非鉄



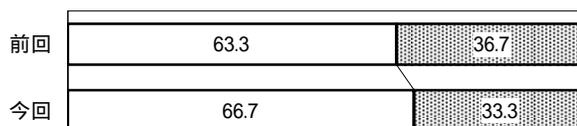
金属製品



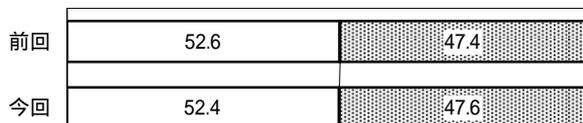
一般機器



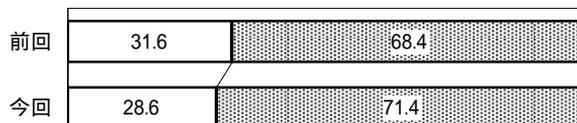
電気機器



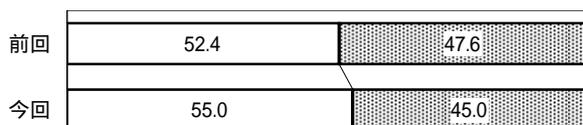
輸送用機器



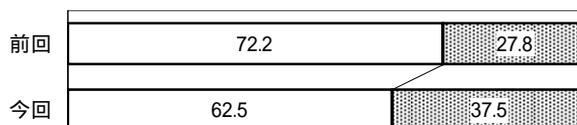
精密機器



縫製



樹脂製品



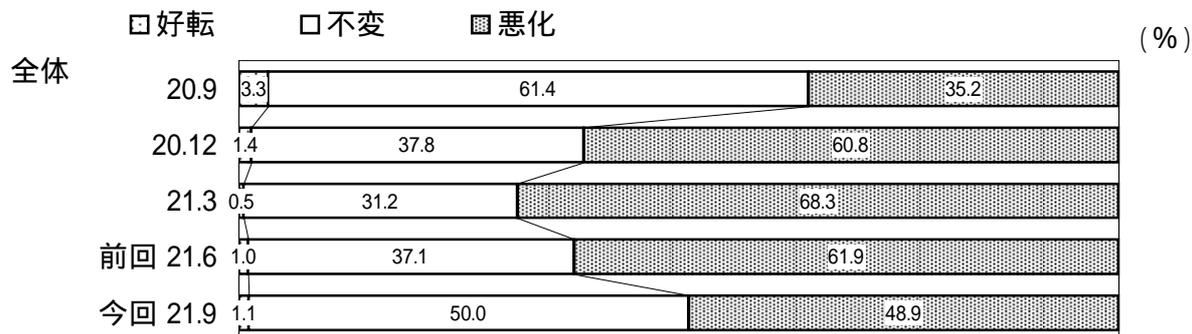
全体

7～9月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた数値）は、42.9となり、前期（4～6月）に比し、9.9ポイント改善した。但し「不変」とする企業が6割近くを占めた。

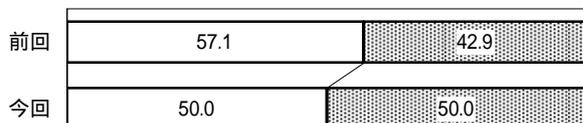
業種別

業種別DIでは、鉄鋼・非鉄で36.4（前期差15.9ポイント上昇）、金属製品で53.3（前期差20.2ポイント上昇）、一般機器で32.4（前期差24.7ポイント上昇）となり、DI値としては改善したものの「不変」と答えた企業が増えている。一方、樹脂製品で37.5（前期差9.7ポイント低下）、精密機器で71.4（前期差3.0ポイント低下）と、「低下」と答えた企業が増えた。

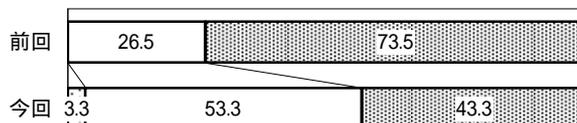
(4) 資金繰りについて



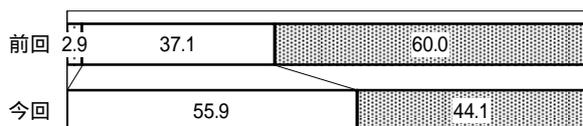
鉄鋼・非鉄



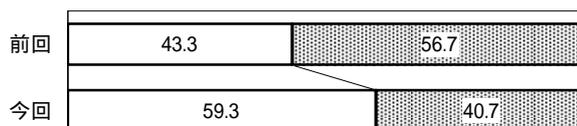
金属製品



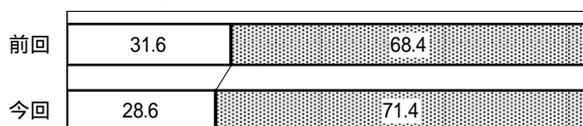
一般機器



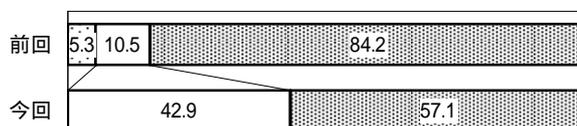
電気機器



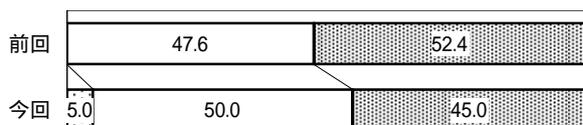
輸送用機器



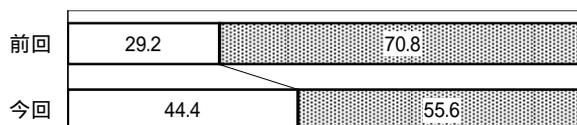
精密機器



縫製



樹脂製品



全体

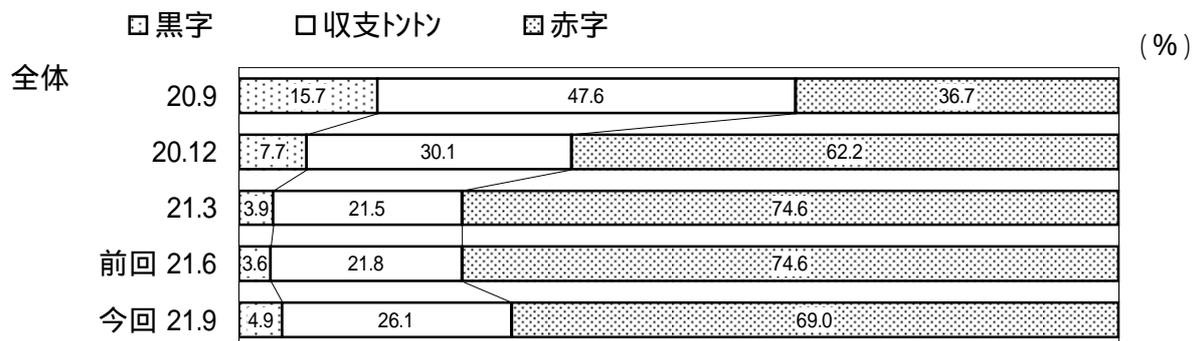
7～9月期の全体の業況判断DI(「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた数値)は、47.8で、前期(4～6月)に比し、13.1ポイント上昇し、2期連続で改善した。但し低水準であり、大幅に改善しているとは言えない状況である。

業種別

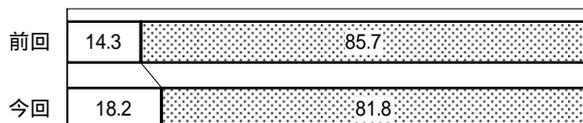
業種別DIでは、金属製品で40.0(前期差33.5ポイント上昇)、縫製で40.0(前期差12.4ポイント上昇)と、「好転」と答えた企業が微増した。また、一般機器で44.1(前期差13.0ポイント上昇)、電気機器で40.7(前期差16.0ポイント上昇)、精密機器で57.1(前期差21.8ポイント上昇)、樹脂製品55.6(前期差15.2ポイント上昇)となり、DI値としては改善したものの、「不変」と答えた企業が増えた。

一方、鉄鋼・非鉄で50.0(前期差7.1ポイント低下)、輸送用機器で71.4(前期差3ポイント低下)と、「悪化」と答えた企業が増えた。

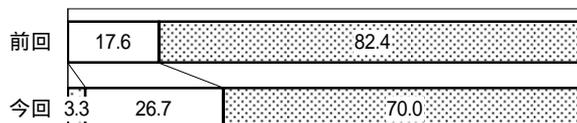
(5) 採算状況について



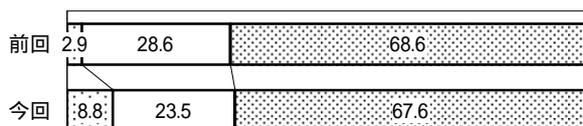
鉄鋼・非鉄



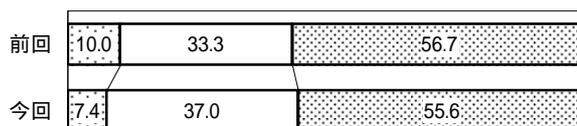
金属製品



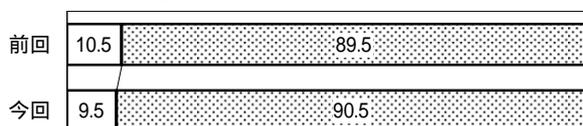
一般機器



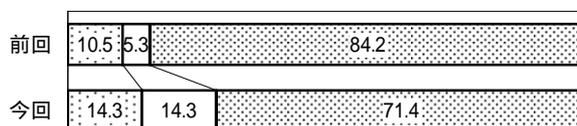
電気機器



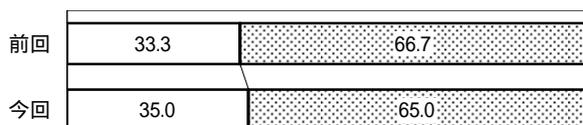
輸送用機器



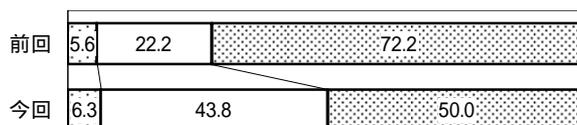
精密機器



縫製



樹脂製品



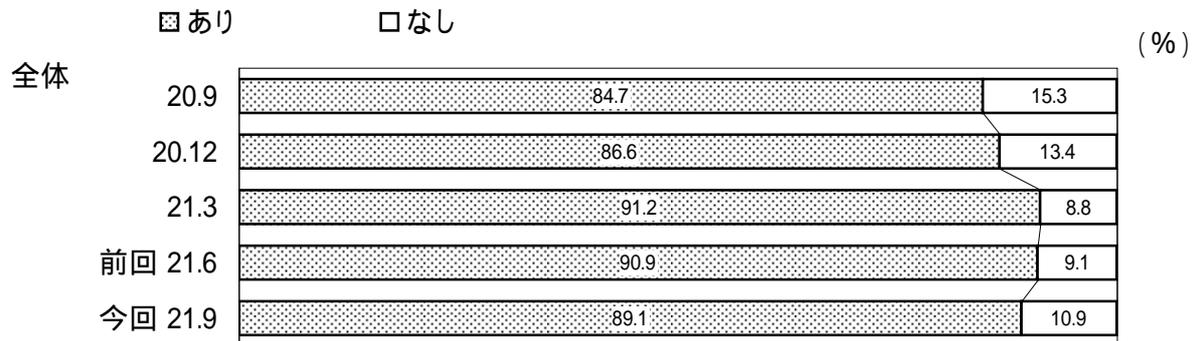
全体

7～9月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた数値）は、64.1で、前期（4～6月）に比し、6.9ポイント上昇し、改善した。但し低水準であり、大幅に改善しているとは言えない状況である。

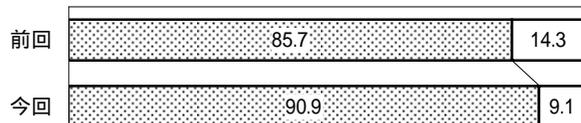
業種別

業種別DIでは、金属製品で66.7（前期差15.7ポイント上昇）、精密機器で57.1（前期差16.6ポイント上昇）、樹脂製品で43.7（前期差22.9ポイント上昇）、一般機器で81.8（前期差6.9ポイント上昇）となり、「黒字」と答えた企業が増えたが、依然、全業種で「赤字」とする企業が5割を超えている。

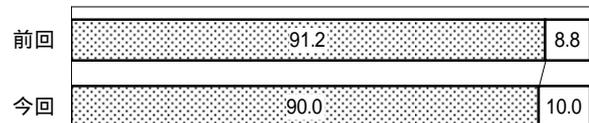
(6) 受注余力について



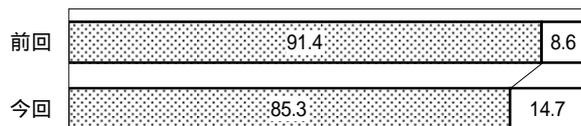
鉄鋼・非鉄



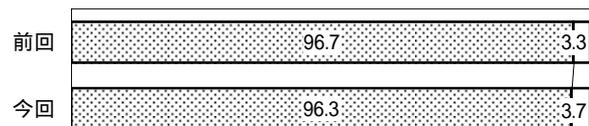
金属製品



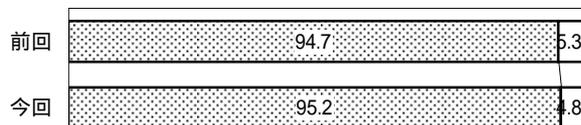
一般機器



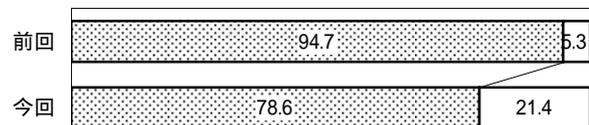
電気機器



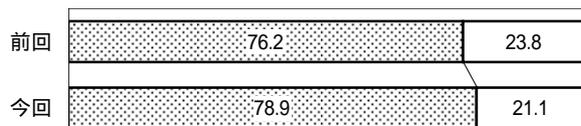
輸送用機器



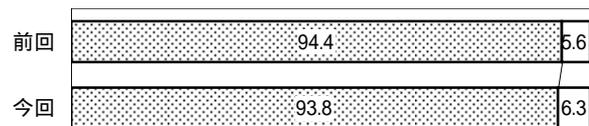
精密機器



縫製



樹脂製品



全体

受注量の動きに伴い、「受注余力あり」とする企業が微減した。

業種別

鉄鋼・非鉄、輸送用機器及び縫製において「余力あり」とする企業が微増し、一般機器、精密機器及び縫製を除く業種で「受注余力あり」とする企業が9割を超えた。

財団法人 京都産業 2 1

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 (京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315 - 9234 FAX (075) 315 - 9240
E mail: office@ki21.jp
URL : <http://www.ki21.jp>

